



## 佐和田 佐和田万燈まつり



4月27日(木)に佐和田万燈まつりが開催されました。早朝からあいにくの雨でしたが、どこも早くから準備を始め、様々な作品がお目見えしました。

お昼になると、雨もすっかり止み、子供たちが元気いっぱい万燈を引いて町中を練り歩きました。

夕方になり、大万燈制作コンクールで万燈に明かりが灯され、審査が行われました。優勝は佐高通りの「水滸伝」、準優勝に田町の「布袋様」が選ばれました。その後、明かりの灯された万燈たちは、諏訪町、本町をゆっくり照らしていきました。小雨もまじったことにより、昼とは違った趣で観客の目を惹いていました。

優勝した佐高通りの大万燈はこころなしか誇らしげで、より一層、街を明るく照らしているように感じられました。



## 小木 交通安全「自転車教室」で学びました

春の交通安全運動が終わる連休前に、小木中学校を皮切りに、深浦小学校、小木小学校と順次「自転車教室」が毎年開催されています。各学校では、児童生徒に正しい自転車の整備と利用の仕方、交通マナーを実践から学ぶ場として計画されています。

教室では、グラウンドに模擬道路をつくり、信号機付交差点の横断、右折・左折や道路を横断する時の注意点を、佐渡西警察署小木駐在所・佐渡地区交通安全協会小木支会の皆さんから、丁寧に指導を受けていました。

5月の連休前、夏休み前にこのような教室が開かれることは、子どもたちにとって「交通事故の怖さ」・「生命の尊さ」について考え、実践を通して正しい交通マナーを身に付ける貴重な体験となったことと思います。「自分の命は自分で守る」、悲惨な事故に遭わないために、子どもと一緒に家庭でも交通安全について、話合うことの大切さを実感させられた安全教室でした。



◀学年の数だけ学んでください！はーい！



◀次は？信号をよく見てからだよ！

## 畑野 長谷観音まつり、長谷寺ぼたんまつり

5月14日(日)長谷寺境内にて長谷観音まつりが開催されました。当日は前日までの雨が嘘のように晴れ渡り、鬼太鼓や春駒などの郷土芸能を見ようと大勢の人々が訪れました。

また、13日、14日の両日にわたって行われた長谷寺ぼたんまつり先賑わいを見せ、十一面観音像、不動明王像など貴重な文化財が公開された特別寺宝展や今回初めて行われたジャズコンサートなどには多くの人々が訪れていました。

ぼたんの開花状況は五分咲き程度でしたが、ツツジなどが満開で美しく咲いた花々が訪れた人々の目を楽しませていました。



## 両津 湊まつり



5月4日(木)、5日(金)湊地区で湊まつりが開催されました。

このまつりはこの地区の鎮守である八幡若宮社の祭礼で、2日間を通して様々な郷土色豊かな行事が催されました。

4日の前夜祭には、お神楽や子ども鬼太鼓、町内対抗芸能大会などが行われ、5日の祭礼には、お神輿渡御やあばれ獅子、下り羽、芸山車などが地区内を練り歩き、町はまつり一色となりました。

また、5日夜に行われたまつりの名物であるねり神輿が始まると、神輿を担ぎ上げた若松会中心のメンバーが、湊木遣りの歌に合わせ、勢い良く境内に飛び込みました。何度も何度も飛び込むその勇壮な姿にまつりは最高潮

を迎え、興奮冷めやらぬうちにまつりは終了しました。



## 相川 生まれて初めての 田植えに挑戦



5月12日(金)金泉小学校5年生15名による田植えが行われました。4畝の田んぼを提供しているのは、達者で民宿を営んでいる山本義昭さんです。

山本さんは最近では機械化で昔のように手で田植えをすることがなくなりました。子ども達が田んぼに入り自分の手で苗を植え体験することは、大変いいこととおっしゃって自分の田植えも終わっていないのに協力してくれています。

子ども達は「わく回し」も、田植えも初めての経験で農協の秋野営農センター長から、苗の品種(こがねもち)や、苗の植えかたをおそわった後、楽しそうに苗を植えていました。



## 真野 カンゾウの苗を植栽 ～越の長浜～



毎年「越の長浜」の国道斜面にきれいに咲き誇るトビシマカンゾウですが、今年も5月8日佐渡総合高校生徒23名および南ロータリークラブ会員10名の

方々でカンゾウの苗500本の植栽が行われました。カンゾウの苗は、昨年7月下旬に生徒が種蒔したもので、冬を越し20～30cmに生長したもので、生徒たちは足が取られる急斜面に滑らないよう踏ん張りながら一株、一株丁寧に植えていました。

ドライバーの皆さん!足を止めて花いっぱいのカンゾウと対話してみませんか。



## 佐和田 山菜を食べる集い のどか「長閑」



暖かな春の陽気に包まれた5月14日(日)沢根東野「仁井屋農園」で山菜を食べる集い「長閑」が催されました。今年で4回目となるこの集いですが、佐

和田地区だけにとどまらず、遠くは高千から来られているかたもあり、佐渡中から50名を超える人たちが、会場に駆けつけていました。献立は、煮物、揚げ物、吸い物、甘味、お茶に至るまで、なんと30種類以上!!筍の子やわらび、落のとうといったお馴染みの食材から、タンポポやつくし、黒紫米ごはんなど、普段口にすることのない食材にみなさん舌鼓を打っていました。

まさに山菜のフルコースといった感じで、多種多様な味を楽しむことができました。

毎年恒例になっている、春駒や、やわらぎ節などの芸能も披露され、会場のみなさんは舌だけでなく、目や耳まで満足していたとき、「のどか」なひと時を過ごしました。



## 赤泊 大盛況! 第2回 あかどまり観光祭り



5月14日(日)赤泊港広場を会場に、第2回あかどまり観光祭りが盛大に開催されました。

当日は良い天気恵まれ、メインステージでは赤泊分校郷土芸能クラブや、地元の民謡、島内外のよさこいグループの息の合った踊りなどが披露されました。

また、魚のつかみ取りコーナーでは、中学生以下の子供たちがタイやハマチなどを捕まえて歓声を上げ、地場産品の販売コーナーでは、当日高速船あいびすで佐渡を訪れたグループも、エビ汁や浜焼き、地酒など赤泊の味覚を堪能し、大人も子供も大満足の日となりました。





## 羽茂 第9回 グランドフェスタはもち



5月21日(日)羽茂小学校グラウンドで「第9回グランドフェスタはもち」が開催されました。

前日の大雨の影響でグラウンドの状況が心配されましたが、当日は全国的な晴天に恵まれ絶好の運動会日和になりました。

グラウンドには昨年参加できなかった2チームも含め羽茂地区の小学生から60代の大人まで幅広い年代の選手たちが優勝を目指して集まりました。

競技は誰もが楽しめるよう趣向を凝らした12種目がおこなわれました。

最終種目は、小学生・中学生・20代・30代・40代・50歳以上の男女合計12名がバトンをつなぐ人生リレーです。大量得点のチャンスのため選手・応援団とも力が入り、会場は大いに盛り上がりました。

今年は抜群のチームワークをみせた小泊チームが優勝をしました。

各チームの参加者たちは競技とその後の慰労会を通して地域交流を一層深めました。



## 真野 全牛が揃い営業開始 きょうづか ～経塚放牧場～



標高636mの経塚山に広がる経塚放牧場の開牧式が5月18日に行われました。今年の開牧は牧草の生育が例年より悪く、また、雪による牧柵被害の

修理のため4月～5月にかけて全35頭を3回に分けての開牧となりました。親牛に交じて生後3ヶ月の子牛の姿も見られ、母牛が「大丈夫?」と心配そうに子牛を見守る姿がありました。これから11月下旬の開牧まで、広い牧場で美味しい空気をいっぱい吸い、ゆったりと草を食べて、大きく成長した姿が今から楽しみです。



## 畑野 国見山・杉池登山

5月21日(日)教育委員会畑野事務所主催による登山が行われました。

当日は快晴のもと16名が参加し、佐渡山岳会のご協力を得て青木山牧場入口から、旧トキ保護センター・国見山・いちいの木展望台と巡り、杉池で昼食をとりました。

かつて悠々と小佐渡の山々にトキが飛んでいた姿を想像しながら、道中に咲き誇る雪椿の花が疲れを癒してくれました。

帰りに立ち寄った「生椿」では地元出身者の方が農作業の手を休め、かつてトキの舞い降りた田んぼや、営巣木などを紹介いただき、いつか再びこの地にトキが優雅に

舞う日が一日も早く来ることを願い車窓の人となりました。



## 金井 金北登山 ～佐渡を見下ろしてきました～



澄みきった青空が広がった5月22日、金北登山が行われ、総勢78名が金井新保より登山道に登り、山頂を目指しました。参加者

は、最年少が5歳、最年長は72歳と幅広い方々でしたが、皆楽しくスムーズに登山が行われました。

余りにも天候がよく、日差しが強かったために暑い中での登山でしたが、時折吹く風が気分をリフレッシュさせてくれました。

登山道にはまだ残雪があり、苦戦する場面も見られましたが、眼下に広がる佐渡

